

平成 22 年 5 月 12 日

平成 22 年度 国立大学法人福島大学 年度計画 【概要】

第 2 期中期目標期間のスタートの年である平成 22 年度は、以下の年度計画に取り組みます。

教 育

教育の質の向上を図るため、授業科目や入試等の内容・体制を点検・検証し、改善に向けて検討を進めます

教育改革のための体制・組織の整備を進めるとともに、学生参加型による教育改善に取り組みます

学生の交流や教職員の連携を重視しながら、学生の学習・生活に関する様々な支援を充実させます

研 究

研究支援体制を強化し、特色ある学際的研究・プロジェクト研究を推進します

社 会 貢 献

地域ニーズの把握に努めながら地域社会と協力・連携し、地域の課題解決や生涯学習の充実に取り組みます

国 際 化

国際化を推進するための新組織設置に向けて取り組むとともに、各種調査や体制整備を行います

附属学校園

各附属学校園の特性に応じて大学との研究交流を拡大するとともに、実践成果を地域に還元します

業 務 運 営

大学運営の活性化のために、業務運営の改善や効率化を進め、教育研究環境の整備に取り組みます



国立大学法人

福島大学

Fukushima University

中期目標・中期計画

第2期（平成22～27年度）

本学の基本的な目標

～ 中期目標（前文）大学の基本的目標 ～

○ 福島大学は、創立以来、東北・関東を中心に教育、産業、行政等の各界に広く有為な人材を送り出し続けており、地域社会に存在感と信頼感ある学術文化拠点としてさらなる発展を目指す。

○ 第2期中期目標期間において、福島大学は以下の目標を掲げ、教育の質を保証する体系的なプログラムを提供し、「教育重視の人材育成大学」としての使命を果たす。

1 福島大学は、文・理の幅広い教養と豊かな創造力を備えながら、世界的視野を合わせ持ち、地域社会に貢献できる人材を育成する。

基本的目標

2 地域に触れる学習を重視しながら、「自由で自律的な学び」を推進し、個性が豊かに開花する「学生のための大学づくり」を実現する。

教育の目標

3 地域に根ざし世界に誇れる優れた研究成果を生み出し、地域の研究拠点としての役割を果たす。

研究の目標

4 広く社会に門戸を開き、地域との連携を図り、教育研究を通じた地域社会への貢献を重視する。

社会貢献の目標

5 他の高等教育機関等と連携し、地域における高等教育の機会の拡充と内容の充実を図る。

地域の高等教育に関する目標

6 アジア・太平洋地域の学術交流協定校との交流強化を機軸として、世界に向けた教育研究の展開を図る。

国際化に関する目標

学生のための大学づくり

地域に触れる学習を重視しながら、「自由で自律的な学び」を推進し、個性が豊かに開花する「学生のための大学づくり」を実現する。(中期目標 前文2)

1. 卒業生の質を保證します

【目標1-①】

(1) 本学の教育による到達水準や教育目的を明確にします

【計画1】 学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針の確立

(2) 学生の主体的な学びを重視します

(3) 個々の学生の能力・意欲を向上させる教育活動を展開します

- 【計画2】 学修者の質が保證できる体系的な教育の実践
- 【計画3】 思考力、表現力等を向上させるための少人数教育の充実
- 【計画4】 問題発見・解決能力を持つ人材育成のための学際的・文理融合的教育の充実
- 【計画5】 地域社会の現実に触れる教育方法の重視
- 【計画6】 主体的に学び、個々人の能力を伸ばす多様な教育プログラムの提供

5. 教育改革を推進し、教育方法を改善します

【目標1-⑤】
【目標1-⑥】

- 【計画10】 教育改革に関する実施体制の確立
- 【計画11】 体系的な教育改革に関する専門的組織の整備・強化
- 【計画12】 ICTを利用した効率的・効果的な教育活動の実施
- 【計画13】 教員の授業力・教育力の向上

6. よりきめ細かな学生支援に取り組みます

【目標1-⑦】
【目標1-⑧】

(1) 総合的な支援を効果的に行います

- 【計画14】 学習・研究に関するきめ細かな支援の実施
- 【計画15】 支援を必要とする学生へのケアや学生相談体制の充実
- 【計画16】 留学生への支援体制の整備と日本人学生との交流の推進
- 【計画17】 附属図書館の充実による学生の自律的学習活動の支援
- 【計画18】 物的・人的両面からの課外活動支援の強化
- 【計画19】 学生生活の拠点となる交流・学習スペースの確保
- 【計画20】 学生寮の改善・充実

(2) 経済的支援を強化します

【計画21】 授業料免除制度の改善と本学独自の支援策の導入

(3) 全学体制による就職支援を充実させます

【計画22】 進路選択に関する情報の充実ときめ細かな就職支援の実施

教育研究等の質の向上に向けて業務運営の改善・効率化を進めます

2. 大学院教育を一層充実させます

【目標1-②】

【計画7】 カリキュラムや教育体制の充実等による学位の質の保證

3. 社会人教育を充実させます

【目標1-③】

【計画8】 夜間主コースの教育システムの改善

4. 志願者拡大に向けて戦略的に取り組みます

【目標1-④】

【計画9】 志願者動向等分析、入試制度改革、効果的な入試広報の実施

地域の研究拠点の形成

地域に根ざし世界に誇れる優れた研究成果を生み出し、地域の研究拠点としての役割を果たす。(中期目標 前文3)

1. 基盤的研究と特色ある研究を推進し、研究成果を社会に還元します

【目標1-⑨】【目標1-⑩】

- 【計画23】 基盤的研究と学際的プロジェクト研究の重点的推進
- 【計画24】 地域社会の諸課題解決のための他機関と連携による研究の推進
- 【計画25】 積極的な研究成果の公表・発信

2. 研究活動を推進するための体制・環境を整備します

【目標1-⑪】

- 【計画26】 研究推進体制の整備・充実と研究活動評価の実施
- 【計画27】 若手研究者・女性研究者への研究支援の強化
- 【計画28】 附属図書館と総合情報処理センターの連携による学術情報基盤の整備

教育研究を通じた地域社会への貢献

広く社会に門戸を開き、地域との連携を図り、教育研究を通じた地域社会への貢献を重視する。(中期目標 前文4)

産官民学連携を強化し、地域社会の発展に貢献します

【目標1-⑫】【目標1-⑬】

- 【計画29】 地域社会との連携・共同による事業の推進
- 【計画30】 地域社会の課題解決と人材育成への貢献
- 【計画31】 多様な学習機会の提供による生涯学習活動の支援

他の高等教育機関等と連携し、地域における高等教育の機会の拡充と内容の充実を図る。(中期目標 前文5)

地域の高等教育の機会を拡充し、内容を充実させます

【計画45】 設置形態にとらわれない他大学等との組織的連携の推進

世界に向けた教育研究の展開

アジア・太平洋地域の学術交流協定校との交流強化を機軸として、世界に向けた教育研究の展開を図る。(中期目標 前文6)

大学の戦略として教育研究活動の国際化を進めます

【目標1-⑭】

- 【計画32】 新たな推進組織の整備
- 【計画33】 学術交流協定校の拡大と海外拠点校の形成
- 【計画34】 国際化に対応した教育研究活動の多様な展開
- 【計画35】 学生・職員の海外派遣の推進
- 【計画36】 積極的な留学生受入れ

教育

研究

教育重視の人材育成大学

福島大学は、
文・理の幅広い教養と
豊かな創造力を備えながら、
世界的視野を合わせ持ち、
地域社会に貢献できる人材を育成します。

としての使命を果たします

社会貢献

国際化

業務運営

附属学校園

附属学校園の特色を生かした
教育研究の推進

学内外の組織的連携の強化や地域への貢献を重視します

【目標1-⑯】【目標1-⑰】

- 【計画37】 附属学校園と大学、附属学校園間の組織的な連携の強化
- 【計画38】 地域のセンター校としての教育相談・子育て支援事業等による地域との連携活動の展開
- 【計画39】 学校運営体制の見直し・改善

業務運営

教育研究等の質の向上に向けた 業務運営の改善・効率化

1. 社会のニーズに合った柔軟で効率的な組織・体制づくりを進めます

～【目標Ⅱ-①】
【目標Ⅱ-⑤】

- 【計画 40】 業務運営の迅速化・効率化と学外者等の意見の積極的反映
- 【計画 41】 中期目標の実現につながる戦略的資源配分
- 【計画 42】 学群・学類・学系制度の検証と教育研究組織の検討・見直し
- 【計画 43】 人材確保・養成に関する人事制度の構築と女性が働きやすい職場環境の整備
- 【計画 44】 職員の業績に対する評価システムの構築と処遇に反映する制度の整備
- 【計画 45】 設置形態にとらわれない他大学等との組織的連携の推進
- 【計画 46】 柔軟で効率的な事務組織・体制の構築

2. 自己収入の増加や経費の抑制等に取り組み、財政基盤の安定化を図ります

～【目標Ⅲ-①】
【目標Ⅲ-④】

- 【計画 47】 外部資金の獲得や多様な資金調達による自己収入増加に向けた取組推進
- 【計画 48】 国家公務員の改革を踏まえた人件費改革の実施
- 【計画 49】 人件費改革アクションプランの策定による人件費の削減と管理的経費の抑制
- 【計画 50】 大学が保有する資産・施設の効率的運用

3. 評価活動を充実させるとともに、社会に対して積極的に情報を発信します

【目標Ⅳ-①】
【目標Ⅳ-②】

- 【計画 51】 自己点検評価などの評価活動の充実と評価結果の大学運営改善への結び付け
- 【計画 52】 ホームページ・広報誌などの広報媒体の整備・充実による体系的・機動的な情報発信

4. 安心・安全な教育研究環境の確保に向けて取り組みます

～【目標Ⅴ-①】
【目標Ⅴ-③】

- 【計画 53】 キャンパスマスタープランに基づく安全で機能的な教育研究環境基盤としての施設整備
- 【計画 54】 安全・危機管理体制の強化、各種事故防止対策・情報セキュリティ対策の実施
- 【計画 55】 コンプライアンス体制の整備とキャンパス・ハラスメント防止への取組実施

地域社会に貢献できる人材を育成します

★「自由で自律的な学び」
を重視した「学生のため
の大学づくり」

教育

地域の高等教育

★ 地域の高等教育の
機会拡充・内容充実

★ 基盤的研究・特色ある研究
の推進と社会への還元

研究

国際化

★ 世界に向けた
教育研究の展開

★ 地域社会との連携による
地域社会の課題解決・
人材育成への貢献

社会貢献

附属学校園

★ 学内外の組織的連携と
地域への貢献

業務運営

★ 効率的運営

★ 人材確保・育成

★ 財政基盤の強化

★ 透明性の確保と説明責任の履行

★ キャンパス環境の整備